

[2010年12月期 第2四半期株主通信]  
**SBSビジネスレポート**

2010年1月1日～2010年6月30日 証券コード:2384

## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催


株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 大阪証券取引所 ジャスダック市場

公告方法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、  
日本経済新聞に公告いたします。

- 【ご注意】
- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
  - 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
  - 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **SBSホールディングス株式会社**  
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー  
TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822



LOGISTICS

MARKETING

IT/  
ENVIRONMENT

FINANCIAL

PERSONAL  
PLACEMENT



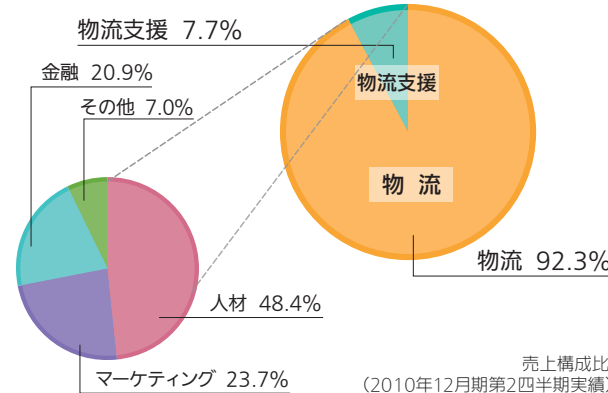
SBSホールディングス株式会社

SBSグループは、お客様の事業インフラである物流の領域で業務効率化に貢献します。



事業の内容

コアビジネスである物流事業と物流支援事業で企業の物流効率化を支援



当期の目標

新規営業開拓の推進と  
ローコストで高品質な物流サービスの提供

**2010年重点施策**

- 攻撃力(営業力)の強化
- オペレーションの徹底した見直しと強化
- 業界上位を目指し基礎収益力を強化
- コンプライアンス、環境、CSRに配慮した経営

**2010年計画**

売上高	営業利益	売上高営業利益率	1株当たり配当金
1,160億円	32億円	2.8%	2,300円



厳しい経営環境下で培った  
事業基盤の強化を背景に、  
規模の拡大と企業価値の  
さらなる向上に取り組みます

代表取締役 鎌田 正彦

SBSグループは物流を中心として、お客様のサプライチェーン全体に多彩なサービスをご提供する総合アウトソーシング企業グループです。お客様が主力事業に経営資源を集中できる環境を整え、企業競争力と経営効率の向上を支援いたします。

景気は、デフレや円高の懸念はあるものの、リーマンショックによる金融経済危機から穏やかな回復の兆しを見せています。一方、この2年間に及ぶ危機は企業の体力を激しく消耗させました。物流業界においては原油価格の上昇なども加わり、まさに生き残りを賭けた激しい競争が繰り返されました。

当社グループは、この厳しい時期を更なる成長を遂げるための期間と位置付け、グループ体制固めや事業の選択と集中に取り組みました。シナジーが見込めない

事業の売却を進めると同時にコアとなる物流事業の効率化と品質向上を推進しました。

特に今後の物流事業の主力となる3PL事業では人材の育成から取り組むなど事業の基盤作りに努めました。また、改善活動でも人材育成と高品質・ローコストオペレーションの定着を両輪に、現場力の向上に注力しました。

この上半期は、依然として厳しい経営環境でしたが、利益率の上昇などこれらの取り組みが着実に成果を発揮しております。今後も強化した事業基盤をベースに、M&Aに積極的に取り組むなどSBSらしさで、規模の拡大と企業価値の向上をめざしてまいります。

今後とも末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様よりいただいたご質問のなかから、最も多かったご質問にお答えいたします。

## Q 1 SBSグループの主力事業である物流事業の「強み」は何ですか？

### A 1 当社グループの強みは「解決力」です。

物流業はモノを運ぶための道具(トラック)があれば何でも運べる・・・、とイメージされる株主の皆様も多いことと思われま。しかし、実際はそんなに簡単ではありません。一例として、特に安全品質が求められる食品物流。徹底した衛生管理のほかに品質維持のための温度管理も求められます。さらに、「乳製品」や「ケーキ」などの商品は外部のニオイを吸着しやすく、振動に弱い性質があるため、それを防ぐためのノウハウやトラックの仕様も必要となります。このように、取り扱う商品の知識や性質を理解し、安全、確実、定時に運ぶ能力が物流事業者には求められます。当社グループには、鉄道車両から生鮮食品まで様々な製品や商品に対応できる知識と技術が蓄積されています。それは輸配送業務だけでなく主力とする3PL事業も同様で、物流業務全般に活かされています。さらに、当社グループは、「人材」「マーケティング」「情報」など、物流事業の周辺のサービスも充実させることで高品質な物流サービスの提供が可能となっています。「どんなお荷物でも高い品質でご指定の場所にお届けする」こと、これが当社グループの「解決力」です。



京成新型スカイライナー輸送



厳しい品質管理が求められる乳製品  
(フーズレック北摂流通センター)

## SBS Frontline 1

### ● 新戦力が加わり「解決力」が一層強化されました。

#### ビクターロジスティクスがグループに新加入。

2010年4月1日、SBSグループにビクターロジスティクスが仲間入りしました。同社は、国内大手音響機器メーカーである日本ビクター(株)様の国内外の物流業務全般を担い、オーディオ・ビジュアル製品などの電機製品の物流に豊富な実績を有している会社です。同社の加入により当社グループは、電機メーカー系物流に関するさまざまなノウハウを取得することができ、サービス領域の拡大が図れます。また、同社の拠点を活用することで北海道から九州までの全国輸送も強化することができます。国際物流についても、同社は日本ビクター(株)様の海外生産拠点と豊富な輸送実績があり、今後海外展開を積極的に推進する上で大きな戦力となります。

当社グループは同社との連携体制を早期に構築し、電機メーカーなどの新しい業務分野の拡大や国際物流の強化などに取り組んでまいります。

注)ビクターロジスティクス株式会社は2010年7月1日付にて、V Lロジネット株式会社に商号変更しております。



JVCケンウッドホールディングスとの調印式

#### 【V Lロジネット株式会社概要】

本 社：神奈川県川崎市川崎区東扇島4-1  
 代 表 者：代表取締役 吉瀬 文隆  
 設 立：1997年  
 資 本 金：3億円 (2010年4月1日現在)  
 従業員数：120名 (2010年4月1日現在)  
 事 業 所：東日本支店/西日本支店/  
 北海道営業所/前橋営業所/九州営業所  
 事業内容：北海道から九州まで拠点を配し、家電製品を中心とした3PL業務を展開。

## Q2 SBSグループの改善活動について教えてください。

## A2 お客様のために最高の物流品質をめざしています。

当社グループの改善活動は物流現場ごとに「問題点の発見と真因追究」「目標を設定し施策を立案」そして「施策の実行と評価」を行い「検証し標準化」という改善サイクルに基づき推進しています。改善内容は現場ごとに異なりますが、その目的は「お客様により高品質な物流サービスをご提供する」ことにあります。誤配防止や、よりスピーディーな配送などを実現するために、現場では社員の気づきをもとに小さな改善を積み重ねています。そして、過去4年に亘る地道な改善活動の結果、グループ全体に様々な成果がでています。中でも現場社員の变化はめざましく、自分たちの手で職場をさらに向上させようという意識が高まったことは大きな成果の一つです。また、お客様など外部の方々からも当社グループの改善活動に高い評価をいただくようになりました。これからも当社グループでは積極的に改善活動を推進し、物流品質を一層向上させ、その成果をお客様に還元してまいります。



第6回 SBSグループ改善発表会



改善研修風景

## SBS Frontline 2

### ● 改善活動の成果が認められました。

#### 全日本物流改善事例大会で大会初の3年連続「物流合理化賞」受賞。

当社グループでは改善活動の成果の顕彰と改善ノウハウの共有化を目的に定期的に社内発表会を行っています。加えて、2008年から改善活動の社外評価を受け、他社の好事例を学ぶことを目的に外部の大会にも毎年参加をしています。「全日本物流改善事例大会」は、今年で24回目を迎えた歴史ある大会で、社団法人日本ロジスティクスシステム協会等が主催しています。毎年、荷主企業の物流部門や物流専門企業が多数応募する中から書類選考で選抜された十数社が改善成果を発表。今年は、ティーエルロジコムがグループを代表して参加しました。お客様である大手スーパーの物流センターの在庫物量適正化に挑戦し、取引先である飲料メーカー様と協力体制を構築することで大きな成果を上げた事例を披露し

ました。この改善事例が、特に優れているとして、最優秀賞にあたる「物流合理化賞」を受賞しました。当社グループは2008年に初出場して以来、3年連続の受賞となります。これは同一の企業・グループによるものとしては同大会初で、当社グループの改善活動の成果が広く認められました。

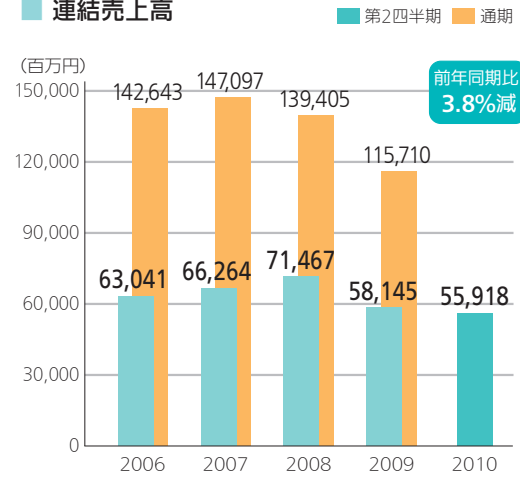


日本ロジスティクスシステム協会 西田会長(左)と発表者 大槻社員

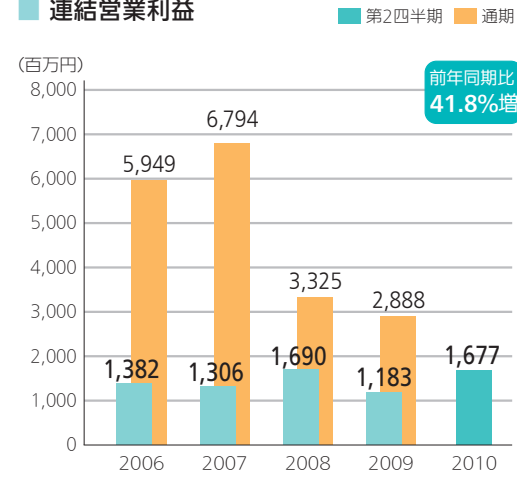
全日本物流改善事例大会 2008	フーズレック／「レイアウト変更による動線の改善と品質改善による生産性の向上」にて物流合理化賞を受賞
全日本物流改善事例大会 2009	東北ウイング(フーズレックグループ)／「最適な人員配置による営業利益高の改善」にて物流合理化賞を受賞
全日本物流改善事例大会 2010	ティーエルロジコム／「出荷物量のジャストインタイム化による保管在庫物量の抑制」にて物流合理化賞を受賞

厳しい経営環境の下で、新規顧客開拓の推進など営業の強化とコスト削減の両面から収益の向上に取り組みました。売上高は前年同期比で減少しましたが、前年度から継続して取り組んできたコスト削減策が奏功し、営業利益、経常利益、当期純利益が増加し、増益を確保することができました。

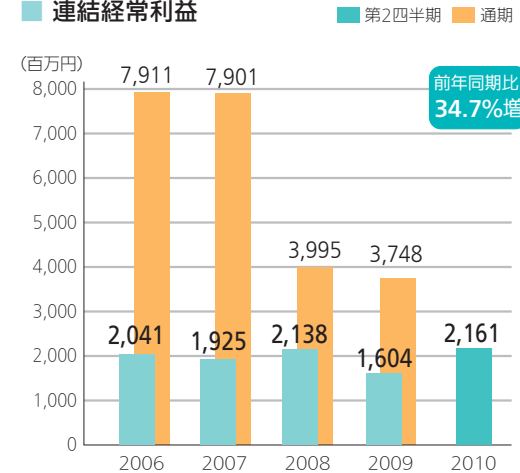
■ 連結売上高



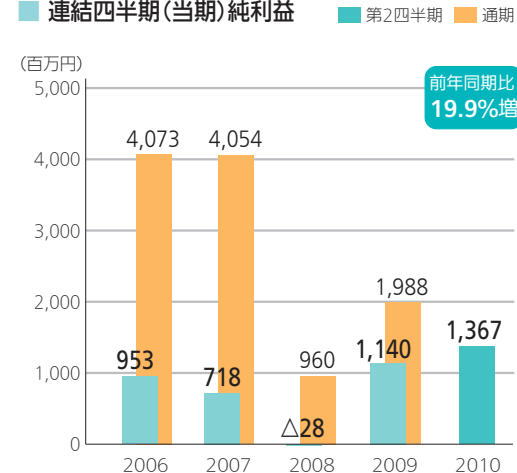
■ 連結営業利益



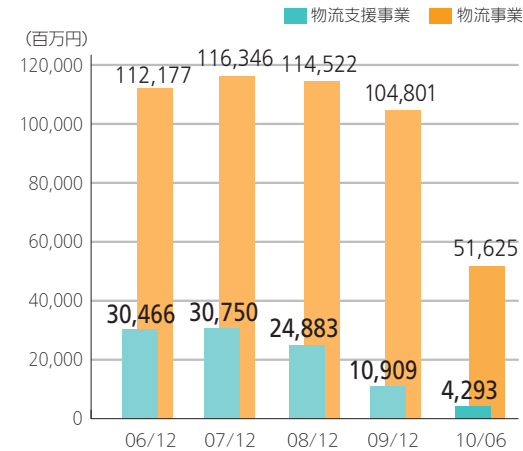
■ 連結経常利益



■ 連結四半期(当期)純利益



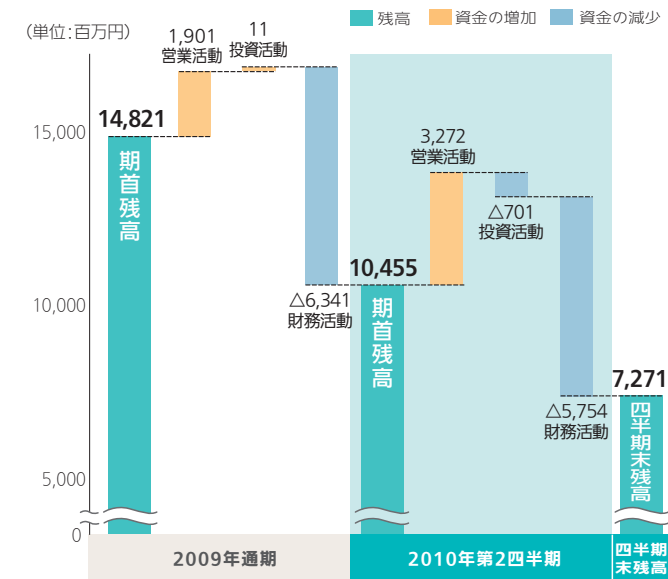
■ セグメント別売上高



(単位:百万円)

	2010年第2四半期		2009年第2四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
[物流事業]				
物流	51,625	1,228	51,972	1,071
[物流支援事業]				
マーケティング	1,018	17	2,637	12
人材	2,079	9	2,541	88
金融	896	365	695	232
その他	299	△10	299	△41
物流支援事業合計	4,293	381	6,172	291
合計(連結消去後)	55,918	1,677	58,145	1,183

■ 四半期連結キャッシュフロー



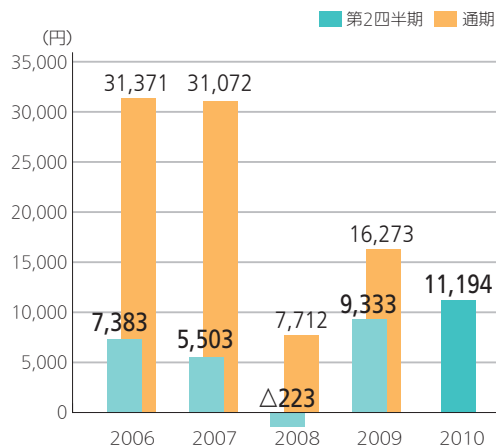
■ セグメント別売上高

- 物流事業: 荷動きは本格的な回復に至らず、売上高は小幅減となりましたが、コスト削減努力により増益となりました。
- 物流支援事業: マーケティング事業において、メール便サービスの子会社を、昨年売却した影響により、売上高が減少しました。

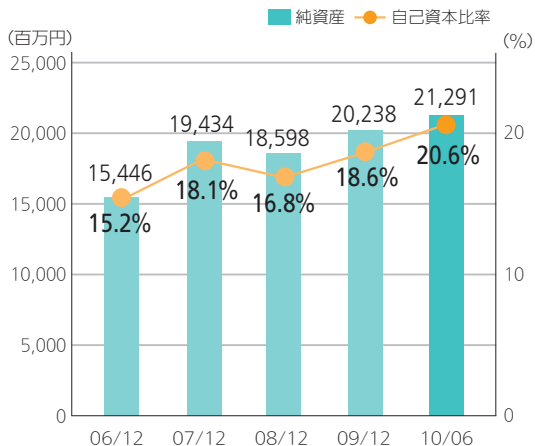
■ 四半期連結キャッシュフロー

好調な営業活動により営業キャッシュフローは32億円増加いたしました。財務の健全化を図るため、有利子負債の圧縮を積極的に進めた結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、72億7,100万円となりました。

1株当たり連結四半期(当期)純利益

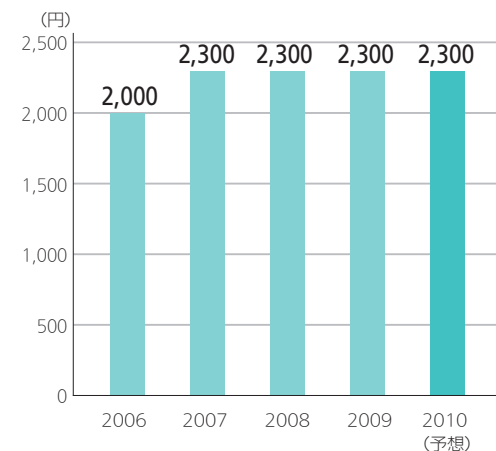


純資産/自己資本比率



利益配分に関する基本方針及び1株当たり配当金

1株当たり配当金の推移



利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置付けております。より強固な経営基盤の構築と株主資本利益率の向上を図ることにより、業績に配慮しつつも安定的な利益還元を努めてまいります。平成22年12月期の配当金につきましては、前連結会計年度と同額の1株2,300円の期末配当とさせていただきます。

会社概要 (2010年6月30日現在)

社名 SBSホールディングス株式会社  
 代表取締役 鎌田 正彦  
 創立 1987年12月16日  
 資本金 38億3,393万円  
 売上高 1,157億円 (2009年12月期連結決算実績)  
 所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3  
 TEL: 03-3829-2222 (代表)  
 FAX: 03-3829-2822  
 事業内容 物流事業、マーケティング事業、人材事業 他  
 主要連結子会社 ティーエルロジコム(株)、フーズレック(株)、(株)全通、SBSロジテム(株)、(株)フォワード、(株)ばむ、SBSスタッフ(株)、(株)エーマックス、SBSファイナンス(株)、(株)ソルス、(株)総合物流システム

役員 (2010年3月30日現在)

代表取締役 鎌田 正彦 常勤監査役 若林 民雄  
 常務取締役 入山 賢一 監査役 米田 樹一  
 取締役 宮坂 文昭 監査役 正松本 重孝  
 取締役 渡邊 進一郎 監査役 竹田 正人  
 監査役のうち、正松本重孝、竹田正人は社外監査役です。

株式の状況 (2010年6月30日現在)

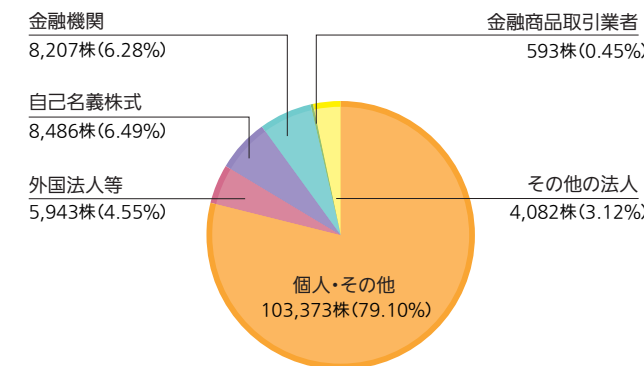
発行可能株式総数 ..... 515,684株  
 発行済株式の総数 ..... 130,684株  
 単元株制度の有無 ..... 無  
 株主数 ..... 4,027名

大株主の状況 (2010年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鎌田 正彦	64,128	49.07
伊達 寛	4,348	3.32
SBSホールディングス従業員持株会	3,516	2.69
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ	3,348	2.56
ロンドン エス エル オムニバス アカウント	3,094	2.36
大内 純一	3,094	2.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,549	1.95
吉岡 博之	1,889	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,580	1.20
株式会社スリーイーコーポレーション	1,560	1.19
日本証券金融株式会社	1,058	0.80

※当社自己保有株式は8,486株

所有者別株式分布状況 (2010年6月30日現在)



「従業員持株会信託型ESOP」の導入に関するお知らせ

SBSグループは、従業員持株会を活用し、社員の福利厚生拡大及び企業価値向上を目的とした「従業員持株会信託型ESOP」の導入を決定いたしました。この制度では、持株会に加入する社員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、持株会信託は今後5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数のSBSホールディングスの株式を一括して取得します。